

第 16 回薩摩川内市行政改革推進委員会 会議録

開催日時	平成 30 年 9 月 19 日(水) 13:30～17:00	
開催場所	薩摩川内市役所 6 階 603 会議室	
出席者	委員	外菌会長、仙波副会長、田島委員、宮元委員、石原委員、小平委員
	事務局	行政改革推進課長、同課職員
	傍聴者	なし

□ 会次第

開会	主管課・室
1 開会	
2 補助金等評価	
(1) 商店街等活性化事業補助金	商工政策課
(2) 地域成長戦略対策利子補助金	商工政策課
(3) 創業・チャレンジ支援補助金	商工政策課
(4) 店舗等改装費補助金	商工政策課
(5) 企業立地支援補助金	商工政策課
(6) 既存住宅改修環境整備事業補助金	建築住宅課
(7) 公共下水道等接続補助金	下水道課
(8) 小・中学校文化活動出場補助金	学校教育課
(9) 中学校生徒会連絡会運営補助金	学校教育課
(10) 甌島地区児童生徒島外活動補助金	学校教育課
(11) 甌アイランドウォッチング事業補助金	学校教育課
(12) 薩摩川内市学校給食会連合会補助金	学校教育課
(13) 郷土史研究会運営補助金	文化課
(14) 郷土芸能保存奨励補助金	文化課
3 閉会	

□ 議事

1 開会

○ 会長

(挨拶)

2 補助金等評価

(1) 商店街等活性化事業補助金

(主管課説明後、質疑・協議)

○ 委員 イベント内容そのものは審査するのか。

● 主管課 補助期間が3年間となっており、初年度のみ審査会を開いて審査している。

審査会では、事業計画、イベントの中身、収支計画等を総合的に判断している。

○委員 成果指標に「補助事業終了後も・・・」との記載がある。どのように調査するのか。

●主管課 3年間で終了する補助制度で、4年目以降も補助事業と同じことを繰り返し、続けていくことだけでなく、変わりながら良いイベントとなることを期待している。

○委員 この補助制度は1回限りか。

●主管課 連続3年間の補助を1回限りで、4年目からは自立を促すものである。

○委員 制度を活用して商店街が大きく変わり、活性化したと、実感することはあるか。

●主管課 プレミアム商品券事業であれば、地域の商店街の売り上げで判断できるが、イベント事業は数字での判断が難しい。

○委員 イベント事業についての追跡はやっているのか。

●主管課 補助制度が始まって3年目で、4年目以降はフォローアップを実施したいと考えている。

○委員 市役所は補助金を出すだけでなく、地域と一緒に汗をかいてほしい。また、資料にある高来温泉について、実際に行ってみた感想を聞きたい。

●主管課 高来温泉は、新しい温泉宿がリニューアルされるなど、少しずつ活性化されてきている。

(まとめ)

○会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○委員 成果指標について、事業の継続性を用いてとあるが、一律とはいかないまでも、何らかの成果目標を記載できないのか。

○委員 継続していくことだけが成果とは言えない。

○会長 要領を改正し、口頭説明があったフォローアップしていくことを追加してはどうか。

○委員 地域も努力が必要。補助金を契機に、地域の自助努力を促し、市全体が活性化するような取り組みを更に進めてほしい。

○会長 まとめに記載したい。

2 補助金等評価

(2) 地域成長戦略対策利子補助金

(主管課説明後、質疑・協議)

○委員 借入れはどの金融機関でも良いのか。

●主管課 日本政策金融公庫が取り扱っている地域成長戦略資金に限られている。具体的には、新企業育成貸付、企業活性化貸付、環境・エネルギー対策貸付、企業再生貸付、食品貸付等である。

○会長 成果指標に雇用保険被保険者数を設定している理由は。

●主管課 総合計画に基づいて、総合戦略を練っている。その中で、被保険者のうち雇用保険をかけている方が基準である平成26年度24,350人から2万5千人まで増やしたいとの考えからである。資料2～4も同様である。

○会長 大きな目標として設定していると理解した。

(まとめ)

○会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「見直しの上で継

続」で「補助内容の改善」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○委員 日本政策金融公庫や商工会議所及び商工会の審査等を経ているとは言え、事業者の負担を減らす観点から手続きの簡素化・効率化を進められたい。

○委員 前回評価における指摘事項において、見直しに至っていない点を事務局が精査し、今回の評価としても引き続き、指摘・指導するよう検討してほしい。

○会長 まとめに記載したい。

2 補助金等評価

(3) 創業・チャレンジ支援補助金

(主管課説明後、質疑・協議)

○委員 前回評価において、同一事業者に偏らないようとの意見があった。どのような内容か。

●主管課 商工政策課が所管している補助金には様々な種類があり、同じ事業者の名前が複数出ている。したがって、広く周知・活用を図られたいとの意見集約があった。

○委員 資料2の地域成長戦略対策利子補助金は日本政策金融公庫の融資を受けているとの説明であったが、この補助金には入っていないのか。

●主管課 創業・チャレンジ支援補助金は県の融資制度を受けた方が対象となっている。

(まとめ)

○会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「見直しの上で継続」で「補助内容の改善」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○委員 前回評価における指摘事項において、見直しに至っていない点を事務局が精査し、今回の評価としても引き続き、指摘・指導するよう検討してほしい。

○会長 まとめに記載したい。

2 補助金等評価

(4) 店舗等改装費補助金

(主管課説明後、質疑・協議)

○会長 同一事業者が2回以上の補助申請にならないように運用しているとのことであるが、今後も継続される見込みか。

●主管課 複数回の補助を可能とすると、どんどんエスカレートする可能性があると考えている。他の補助金(住宅改修補助等)も1回限りである。

○委員 補助率は、改装工事に要する経費の10分の2となっている。何か基準はあるのか。

●主管課 補助率があまり高くないようにしている。制度を作る時点で、他の補助金(住宅改修補助等)の補助率も参考にした。

○委員 申請書類には、施工業者の完了証明書などが必要とある。

●主管課 申請内容が適正か、補助金を交付するため、審査する書類一式の提出が必要である。

(まとめ)

○会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

2 補助金等評価

(5) 企業立地支援補助金(書類審査)

(質疑・協議)

- 委員 成果指標にある新規雇用者数は企業誘致することで、他市町村からの流入者が増えることを成果とするという考え方ではないのか。
- 事務局 他市からの流入で増えたかどうかではなく、市民の方でもその企業に新規に雇用されたかどうかを成果指標として設定している。
- 委員 雇用者数に応じた補助について、計画又は実績のどちらで交付しているのか。
- 事務局 実績に基づいている。
- 委員 用地取得費、施設整備費、新規雇用などの様々な手厚い補助メニューがあると感じた。企業側が新規に立地、増設・移転する際には、年次的に計画を立てて補助の交付を受けられるよう、企業立地に係る相談をされているのか。
- 事務局 お見込みのとおりである。順序立てて相談をお受けしている。市としては、様々な支援策があるので、是非、薩摩川内市にと積極的に企業誘致を進めている。

(まとめ)

- 会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし

2 補助金等評価

(6) 既存住宅改修環境整備事業補助金 (書類審査)

(質疑・協議)

- 委員 予算・決算額とも大きい補助金で、市としてはどのように考えているのか。
- 事務局 市民に幅広く活用されている補助金で、零細事業者へも効果が波及してお

り、経済効果が非常に高い補助金である。また、前回評価は平成25年度に実施しており、ある時期(平成27年度)に国の補助金を受けて事業展開をしたため、今回、久しぶりの評価となっている。

- 委員 8ページの補助金交付要領の耐震改修工事について、地震対応で補強工事も対象となるのか。
- 事務局 基準があると思うので、担当課又は事業者を確認されたい。
- 委員 対象者への周知は徹底しているのか。
- 事務局 広報紙やホームページのみならず、事業者も必ず案内を行っている。
- 委員 平成28年度は400件と区切りの良い申請件数となっている。理由は何か。
- 事務局 予算の範囲内での申請受付となっている。市民の申請も多く、行列ができるくらい人気の高い補助制度である。

(まとめ)

- 会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 会長 制度を知らない市民の方がいないよう、これまで同様、広報・周知を徹底されたい。
- 会長 まとめに記載したい。

2 補助金等評価

(7) 公共下水道等接続補助金

(主管課説明後、質疑・協議)

- 委員 新築の方は必ず下水道に接続しなければならないのか。
- 主管課 下水道区域であれば、下水道に接続しなければならないと法律で決まって

いる。

- 委員 住民は制度を知らないと思う。業者から補助制度の説明はあるのか。
- 主管課 関連業者の方には補助制度の説明をするよう依頼し、周知徹底している。
- 会長 周知はどの程度徹底しているのか。
- 主管課 年度初めに広報紙に掲載している。あと、関連業者が総会を行う7月に制度説明を実施している。更には、職員が個別にリーフレット配布等も実施している。
- 委員 広報紙より業者の人に徹底してほしい。
- 会長 実績を見ると地域的な偏りがある。その理由は何か。
- 主管課 公共下水道がある川内地域と、事業が始まって数年の甌島手打地域を重点的に呼び掛けているためである。
- 委員 下水道の普及率はどれくらいか。
- 主管課 川内地域が約50%、甌島手打地域が約70%である。更なる普及率の向上を頑張りたいと考えている。
- 委員 工事費はどれくらいかかるのか。
- 主管課 工事費の平均は、合併浄化槽から下水道に接続する場合は約23万円、単独浄化槽から下水道に接続する場合は約30万円、汲み取りトイレから下水道に接続する場合は約43万円である。
- 委員 補助制度があるとは言え、金額が高く、個人負担が大きいと思う。

(まとめ)

- 会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と異なり、「見直しの上で継続」で「拡大」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 委員 非常に公共性が高く、制度を続けて

ほしい補助金である。

- 委員 今後は地区ごとの対応が必要である。マップやパンフレットを作成・配付するなど、工夫したらもっと下水道接続率が上がるのではないか。
- 委員 単独処理浄化槽から下水道へ接続する補助金、汲取り式トイレから下水道へ接続する補助金を平成31年度までの3カ年限定で拡大しているが、これらの継続も含め、接続率を上げるための方策を検討されたい。
- 会長 まとめに記載したい。

2 補助金等評価

(8) 小・中学校文化活動出場補助金(書類審査)

(質疑・協議)

- 委員 吹奏楽部に所属している児童生徒は多く、保護者負担は大きいのではないかと補助額が少ないと感じた。
- 会長 吹奏楽部は機材郵送代など相当な費用がかかっている。
- 事務局 団体の人数や内容にもかわらず、補助額が同じところが課題ではないかとの意見として承ります。
- 委員 申請している団体が同好会的なクラブではなく、学校単位のクラブであれば、補助を拡充するなど検討の余地はあるのではないかと。
- 委員 交付要領をみると、申請している団体が同好会的なクラブでも、学校単位のクラブでも同額の補助金となっている。門戸を広げるためにも、差別化を図る余地はあるのではないかと。

(まとめ)

- 会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 会長 今後の改革の方向性として、外部評

価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

- 委員 異議なし
- 委員 団体の人数や内容で補助金額を区別するよう検討されたい。
- 会長 文化活動の門戸拡大は難しいと思われるが、現在、吹奏楽部のみとなっている申請を他のクラブ活動にも広げられるよう努力されたい。
- 委員 同好会的なクラブと、学校単位のクラブとの差別化を図り、補助を拡充するなど検討されたい。
- 会長 まとめて記載したい。

2 補助金等評価

(9) 中学校生徒会連絡会運営補助金(書類審査)

(質疑・協議)

- 会長 前回評価で指摘されたクリアファイルについては、改善したと理解してよいか。
- 事務局 お見込みのとおりである。クリアファイルから封筒に変更し、経費節減を行った。

(まとめ)

- 会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし

2 補助金等評価

(10) 甌島地区児童生徒島外活動補助金(書類審査)

(質疑・協議)

- 委員 質疑なし

(まとめ)

- 会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

- 会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

2 補助金等評価

(11) 甌アイランドウォッチング事業補助金(書類審査)

(質疑・協議)

- 委員 対象者は小学4年生で児童は変わっていくが、甌島の良さを知ってもらう上でも、毎年、内容の改善は行うべきである。
- 事務局 天候に応じて工夫はされていると主管課に確認している。また、前回評価については、高速船で本土と行き来する都合上、里・上甌地域に偏ってしまうとの回答であった。
- 委員 学校単位で実施している事業か。
- 事務局 基本的には学校単位で実施しているが、一部の小学校では、合同で実施しているところもある。

(まとめ)

- 会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 委員 短期的な改善策として、毎年の内容改善を求めたい。長期的な改善策として、前回評価を引き継いで、行き先が一部の地域に偏らないよう、藺牟田瀬戸架橋の完成後は、甌島全域での体験が出来るよう検討

されたいとの意見を付したい。

○**会長** まとめて記載したい。

2 補助金等評価

(12) 薩摩川内市学校給食会連合会補助金

(主管課説明後、質疑・協議)

○**委員** 以前は、自分達で集金を行い、収納率100%だった。難しい時代になっていると感じる。

●**主管課** P T Aに依頼しているが徴収率100%は難しい状況である。

○**委員** 学校給食会連合会の設立の趣旨は滞納対策なのか。

●**主管課** 学校給食会連合会は各学校給食会の連絡調整を図り、学校給食センター業務の円滑な実施が目的であるが、現実問題として滞納対策をせざるを得ない状況にある。

○**委員** 平成29年度の徴収率は何か。

●**主管課** 99.63%である。

○**会長** 雇用している嘱託職員2名の業務内容は、どのようなことをしているのか。

●**主管課** 具体的には、まず、徴収状況を見ながら催告書を送付する。その後、学校長を含めて納付相談を行い、それでも未納となっている場合は、職員と一緒に個別訪問を実施している。

○**会長** 平成31年度から市内全域で給食費の口座振替が開始すると聞いている。また、給食費を滞納している方に対しては、児童手当から引き落とされると聞いている。

●**主管課** 児童手当からの引き落としについては、本人の了解がないとできない。給食費は税金とは異なり、滞納整理し、強制的に徴収することはできない。

○**委員** 嘱託職員2名の勤務地はどこか。

●**主管課** 給食センター内で勤務しており、催告書発送など、事務的な作業を行っている。

○**委員** 市全体の未収金はどれくらいあるのか。

●**主管課** 現年度分(平成29年度分)が約157万円で、過年度分(平成28年度以前分)が約857万円である。現年度分と過年度分含めて請求している。

○**委員** 要保護対象者の場合は、法的な形で徴収しているのか。

●**主管課** 要保護対象の児童生徒については、学校に支払われることになっている。そこで学校に相談し、納めてもらうことにしているが、8割しか支払われないので、100%収納が厳しい状況にある。

○**委員** 個別訪問はいつ実施しているのか。

●**主管課** 基本的には昼間に訪問し、不在の場合は、文書を投函している。

○**委員** 父兄を学校に呼んでも払ってもらえないのか。

●**主管課** その場では約束するのだが、履行されない場合がある。

○**委員** 未納分はどのくらいの期間請求していくのか。

●**主管課** 現在、小中学校に在籍している児童生徒には全て請求している。しかしながら、転出するなど住所不明となった場合はその限りではない。

○**委員** 小学生一人当たりの給食費はどれくらいか。

●**主管課** 小学生で月に4千円、1日当たり230円である。

(まとめ)

○**会長** 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

○**会長** 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

○**委員** 給食費の未収金を少しでも減らすよう努力をされたい。

- 委員 学校給食会連合会の活動が見えない。補助金の交付を受ける上で、徴収率の向上を含め、年間の活動報告など、その効果を求めるべきではないか。
- 会長 まとめに記載したい。

2 補助金等評価 (13) 郷土史研究会運営補助金

(主管課説明後、質疑・協議)

- 委員 視点別評価でB評価が5つある。説明を見るとA評価でもよい内容であるのではないか。B評価とした理由はなぜか。
- 主管課 市としては、郷土史研究会は様々な有意義な活動をされていると感じている。しかし、会員は現在32名で、会員数が減少傾向のためB評価とした。
- 委員 研究会の主な活動内容は何か。
- 主管課 会員32名が私的な研究内容を発表し合うことが主な活動である。
- 委員 川内歴史資料館と研究会の活動はどのようにつながっているのか。
- 主管課 川内歴史資料館の活動とは全く別の組織と考えてほしい。ただし、活動する上で、会場は歴史資料館を活用していただいており、学芸員と連携を取り、情報を交換している。
- 委員 会員の私的な活動に市が補助する理由は何か。
- 主管課 市民に郷土の歴史を認識していただきたいこと、合併後の市史の編纂を検討する予定があることが大きな理由である。また、今回で46号となる機関紙「千台」を毎年編集されており、郷土の歴史を広く市民に知ってもらう機会となっている。
- 会長 収支清算書の印刷・製本費は23万円。摘要欄に100冊作成とあるので、1冊2,300円するのか。
- 主管課 お見込みのとおりである。専門誌なので、少々高く感じられると思われるが、図書館などの公共施設に寄贈している。
- 委員 会員募集はどのように行っている

のか。

- 主管課 以前は、口コミで会員募集を行っていたが、現在は、広報誌も利用し募集を行っている。

(まとめ)

- 会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。
- 委員 異議なし
- 会長 団体自体の必要性は理解したので、今後の期待を込めて意見を付したい。
- 委員 団体の活動が教育的な効果に繋がっていくことを期待したい。子供たちや色々な場へ広げる努力をしてほしい。
- 会長 会員獲得に努力されたい。
- 委員 市に提出する事業実績に実際の参加者を記載してほしい。
- 委員 市としての団体との関わり方を工夫され、会員募集や講演会のPR手段など、必要な支援を行ってほしい。
- 会長 まとめに記載したい。

2 補助金等評価 (14) 郷土芸能保存奨励補助金(書類審査)

(質疑・協議)

- 委員 市指定の郷土芸能とはどのようにして指定されるのか。
- 事務局 文化財保護審議会へ諮問し、教育委員会へ答申し、教育委員会が告示行為とし、指定となる。
- 委員 どれだけの郷土芸能保存団体に補助金を交付しているのか。
- 事務局 平成29年度は国指定が2団体、県指定が7団体、市指定が17団体、その他未指定の団体を含め、56団体に補助金を交付している。

(まとめ)

○**会長** 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

○**会長** 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

3 閉会

○**事務局**

(挨拶)